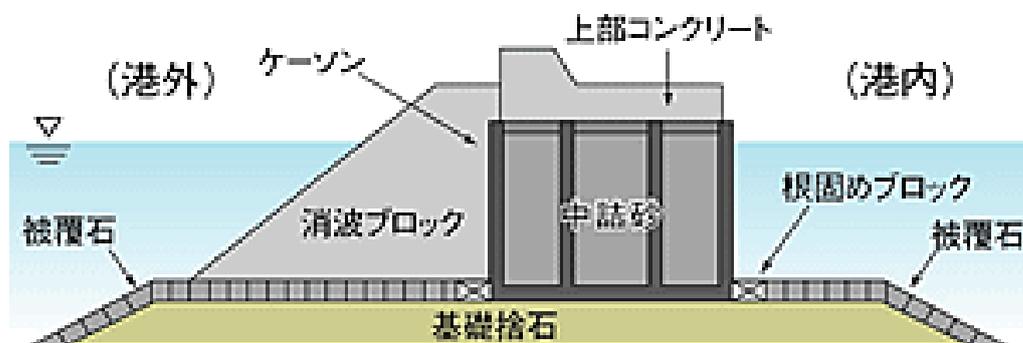


H27 港湾及び空港分野 II-I-3 固い砂地盤上のケーソン式混成堤の構成を図示し、それぞれの概要を説明せよ。

## 1 基本構造



### ア) 基礎捨石

30～500Kgの石材を積み上げて構成される。機能としては、①基礎地盤の不陸を補正して構造物の安定を図る、②構造物の荷重を分散して均等に地盤に伝える、などがある。

### イ) ケーソン

端的に言えばコンクリートで作った函である。このケーソンに砂を詰め重量を増したものを海上で並べていくことで来襲する波を遮る機能が発揮される。

### ウ) 上部コンクリート

コンクリートで出来たケーソンの蓋である。これがケーソン本体と一体となることで波を遮る壁となって機能する。

### エ) 消波ブロック

コンクリートで出来たブロックである。これを積むことにより、本体への波力を緩衝させるため本体を縮小出来る外、越波、反射波を軽減する機能がある。